**フィールドワークとは　―　現場（対象や人）に対面し、相互交流を通して学ぶ**

フィールドワークとは、現場に身をおき、人や現場の状況に関わり、世界のあり方を学ぶ（気づく）こと。心身をとおして情報を集め、道具を使って記録し、第三者と共有する営みです。フィールドワークに定型はありません。調査のテーマ、調査者の立場、予算、時間、人との出会いや現場の状況などによって、さまざまな制約のもとで、多角的なアプローチが可能です。

そこから新しい世界、出来事、また日常の風景を改めて意識し、当たり前だと思っていた考え方、習慣とは異なる事柄・生活に接して、違和感を覚えたり、感動したり、心理的な揺らぎをも含めた体験をとおして、対象から学ぶ方法（自らの気づき）です。

関わる→調べる→伝える

**関わる―それぞれの現場、個人の体験から　（あなたは何を体得・学びますか？）**

フィールドワークとは、現場と出会いそこでの疑問や関心から始まります。家や地域、日々の暮らしや、学校や会社、様々な集団や組織での活動、知り合いのつながり、特定の場所や関係をこえた匿名的なネットワーク、などさまざまな現場があります。

**調べる―問題化する、発見する　（フィールドワークの醍醐味を体験してみよう！）**

フィールドワークには、テーマを探るというプロセスが含まれます。歩いたり、眺めたり、聞いたり、質問したり、触れたり、嗅いだり、味わったり、集めたり、参加したり、巻き込まれたり、巻き込んだりしながら、身体感覚をフルに活用し情報を集め、何かを発見したり、意識したり、問題化してゆきます。最初に目的ありき、とは限りません。

情報化社会の今日、事前の予備的知識をネットなどで入手することが容易になりましたので、周到な準備から始めてもいいでしょう。逆に先入観にとらわれずに、新鮮さを重視することもあります。（相手がによっては、礼儀作法が必要不可欠になります）

**伝える―問題と情報を共有する　（プレゼン・発表を重視します！）**

探索の始まりが個人的な体験や関心からであっても、「ことば」や「かたち」をあたえることによって、問題や情報を人と共有し、ともに考えることができます。情報を集めるだけではなく、伝えることによって、フィールドワークはダイナミックに展開してゆきます。

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

**課題１：グローバルフェスタ（国際課題・交流）や各種社会イベント・展示会に参加して、現場での観察力と情報収集、インタビュー（聞き取り）体験をして、レポートにまとめる。**

**課題２：＜地域調査をしてみよう＞その手順と流れ**

**（準備）**

1. テーマ（調査項目）、目標課題の設定

2. 調査地域の選定

3. 地域調査の準備 ：調査地域の文献・情報調査、関係する地図類・[空中写真](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A9%BA%E4%B8%AD%E5%86%99%E7%9C%9F)ほか、調査計画など

（1と2は逆の場合がある）

**（実施）**

4. 現地での観察・調査（[スケッチ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%82%B1%E3%83%83%E3%83%81)や[撮影](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%92%AE%E5%BD%B1)など）

5. 聞き取り・インタビュー調査（現地の人びと、[企業](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%81%E6%A5%AD)・団体、[官公庁](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%98%E5%85%AC%E5%BA%81)などから）

6. アンケート調査（必要に応じて）

（4 - 6は順不同）

**（まとめ）**

7. 調査資料の整理（分類、グルーピング化など）

8. 調査資料、調査内容の分析・検討とまとめ

9. レポート（報告書）の作成

1) はじめに（目的、地域の概要、調査方法など）

2) 本稿（調査結果、他地域との比較など）

3) まとめ（調査の結果わかったこと、課題など）

＊インタビューの種類

実際には「きく」（あるいは尋ねる）には、いくつかのインタビューの種類を知っておくと、準備をするうえで役にたちます。

（相手に失礼の無いよう、礼儀正しく、記録の際は了解をえて、個人情報管理に配慮する）

1. ある程度、目的に沿ったインタビュー（簡単な質問項目を準備）
2. 厳密に作られた質問表に答えてもらうインタビュー （詳細な質問項目を準備）
3. 非公式なインタビュー、系統性をもたせないインタビュー

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**課題２：地元を知ろう！！**

**★（例） 渋谷に秘められた歴史と歩み：今そして未来へ**

**（参考）シリーズ最終回 渋谷をブラタモリ | ロケタッチガイド　　› 関東 › 東京都‎**

**・・・・渋谷の谷を作った川の一つ。下流は途中で「古川」と名前を変えながら東京湾にまで続いています。**

**渋谷駅付近より上流はその大部分が川にふたをした形で下水道として利用されています。**

**江戸から明治にかけては渋谷川の水力を利用する水車が川沿いに点在していた ...**

**■地元ないし身近な地域について、以下の２項目（両方）について調査して、**

**レポートにまとめてください。**

**（①県以下の市・町・区・村レベル、②近隣・地域レベル　　＊どこか・どなたかにインタビューすること）**

**①*自分の地域で、今に至るまでの歴史、地域の特徴、課題は何か？***

**②*「これは！」というものを何か、具体的に見つけて、地域紹介をレポートして下さい。***

**＊写真、地図、歴史年表なども入れる（・・歴史、文化、地理、産業、などを踏まえて、今とこれからを考える・・・）**